

パパジャングル

南相馬市「南相馬っ子 サマーキャンプ in 福井」報告書

はじめに

8月3日から9日までの6泊7日で、南相馬の子ども達23名を招いてのサマーキャンプを実施しました。男子9人、女子14人、合計23人。学年は小学6年生が4人、中1が9人、中2が9人、中3が1人。この内、パパジャングル主催のキャンプに初参加の子が13人、昨年から継続して福井に来ている子が10人という顔ぶれになりました。

活動中は毎日が晴天。それに猛暑でしたので子ども達の体調に気を遣いながらも、全てを予定通りに行うことができました。

あの震災から約1年半が経過しています。南相馬市での生活環境はもとより、特に子ども達の心情に想いを馳せながらの7日間でした。

おかげさまで多くの方々に賛同を頂き、たくさんのご支援、協力、物心両面で多くの皆様に支えられての活動となりました。関係各位の皆様方、誠にありがとうございました。

震災後、いまだに生活に不自由を抱える南相馬市の子ども達に、笑顔と元気を届けたい。

ただ、その一心で今年も企画いたしました。

活動後には大きな充実感と、これら私たちの願い以上の感動や喜び、学びを、いただきました。

簡単ではございますが、以下に活動のご報告をさせていただきます。

1日目 8月3日（金） 福島県南相馬市から福井県坂井市春江町へ大移動

前日から観光バスとともに南相馬入りをしていたあらかじんの引率で南相馬を出発。

初めて参加の子どもは緊張と楽しみで体調を崩す子がいる中での出発でした。

初参加の子と継続参加の子がいる中、昨年も来ている子どもたちはあらかじんと仲良しで、バスの中でも興奮状態。一方初参加の子どもたちは、大騒ぎしているのがどうもなじめない様子。

この両者の関係に不安を抱えたバスの中でしたが、夕方、福井県坂井市春江町に到着。まず向かった先は、坂井市社会福祉協議会「いちい荘」。時間外にもかかわらずお風呂や休憩場所をご提供頂きました。職員の皆様も心地の良い笑顔と応対をして頂き感謝申し上げます。

ゆったりと入浴した後は、いちい荘さんのご厚意でそのまま施設をお借りして、福井県下で有名な男性の料理ボランティアグループ「鉄人クラブ」の皆様から手料理を振舞って頂きました。「流しそうめん」「焼きそば」「焼きおにぎり」などなど多くのメニューの提供。みんな味と

量ともに大満足。特に「鉄人焼き」が大好評。胃袋もこころも満たされました。ありがとうございました。

あとは寝るだけ。21:30頃に女子14人は活動拠点となる放課後児童クラブ「子どもジャングル」の施設内へ、男子9人は「春江貨物株式会社」さんの会社施設へ移動。春江貨物さんには宿泊先として会社の広い一室を子ども達のために開放して頂きました。本当にありがとうございました。

さて、女子の方では、対立関係がより強くなって険悪な雰囲気が漂っています。これを一新したのが枕投げ。それはそれは激しい枕投げ。しかし、これで一気に女子同士の距離が縮まりました。激しく枕があたってしまうと、「ごめんね」と気遣う様子も見られ、終わってみれば一緒に踊りだすほど仲良くなっていました。

2日目 8月4日(土) 越前海岸「cafe MARE」で海遊び、歓迎パーティ

眠い目をこすりながら7:00起床。朝食は「福井県民生協」さんに準備して頂きました。生協さんには活動中の飲み物、おやつ、お弁当など、多くの物資の提供を頂き活動を支えて頂きました。遠方の活動でも配達までして頂き誠にありがとうございます。感謝申し上げます。

本格的な活動の開始です。この日は絶景が広がる海岸にある「cafe MARE」さんにお世話になりました。MAREさんには昨年の夏、1回目の南相馬っ子キャンプからご協力を頂いています。今回はMAREさんが海での活動を準備して下さいました。

まずはポーセラーツ。無地のお皿やカップなどに好きな絵柄、文字のシールを張り付け、焼いたらオリジナルの食器が完成です。指導する先生まで滞在して頂いています。更には数日後に先生自ら焼きあがった作品を子どもたちに直接届けに来て頂きました。子ども達は夢中で創作していました。その後、小型船でクルージングしたり、ジェットスキーに乗せてもらったり、海水浴に磯遊び。それはもう、満喫しました。子ども達は「生き物探し」にも夢中。貝を夢中で収穫する子どもたちもいました。

「地震後初の海水浴！」と泳ぎまくる子もいました。昼食はMAREさんのご好意で焼き鳥、たこ焼きにかき氷の食べ放題。更にはMAREさんがトウモロコシなどを準備して頂きました。終了時には海岸でドラム缶風呂（五右衛門風呂）にも入りました。

安全確保にはひやひやしたのですが、MAREさんがスタッフもたくさん呼んでくださり、男性スタッフがたくさんいた事も安心できました。

季節柄、しかも土曜日の繁忙期、営業中にもかかわらず準備を含め大勢のスタッフの方々までご協力頂いたMAREの皆様、ありがとうございました。子どもたちにとって最高の一日となりました。

その後、この日も「いちい荘」さんのお風呂にお世話になりました。
そして、歓迎パーティへ。会場には交流を楽しみにしていた放課後児童クラブ「子どもジャングル」の大勢の子ども達とその保護者有志の方々が準備をしながら待っていてくれました。そしてこの日のために振舞う料理等を朝から準備して下さったのが、あらじんの活動に賛同し、事ある毎に有志で集まる「あらじんとゆかいな仲間たち」の面々です。会場準備や美味しい手料理、ありがとうございます。おかげで楽しい歓迎会となりました。

この日の宿泊も、女子は「子どもジャングル」、男子が「春江貨物」さん。
男子も女子もそれぞれの福井の夜を堪能!?していました。

3日目 8月5日(日) スキージャム勝山でアウトドア活動

今日も朝食は「福井県民生協」さんが準備、配達して頂きました。昼食のお弁当まで遠方の現地へ配達頂きました。ありがとうございます。

この日は活動場所も宿泊先も変わります。

勝山市へ移動し、西日本最大のスキー場「スキージャム勝山」の夏を満喫です。

スキージャム勝山さんには、有料アトラクションの大部分のフリーパス券を特別に発行していただき、南相馬の子どもたちに提供くださりました。

勝手気ままなグループでそれぞれが自由行動をとりました。魚釣り、サイクリング、芝ソリ、ミニパークゴルフ、大昆虫展などなど、子ども達は十二分に遊びました。ありがとうございます。

この日の活動には福井大学医学部のボランティアサークル「FEAL」の学生さんも同行してくれました。お兄さん、お姉さんの存在として子ども達と遊び、宿泊までも一緒にして頂き、大人には話せない会話もしていたようです。ありがとうございました。

宿泊先は「スキージャム勝山」の敷地内にある北陸電力株式会社「リフレ勝山」さんにコテージ2棟とホテルの2部屋を準備して頂きました。素敵なお宿でした。ありがとうございます。夕食も、全員と一緒に食べられるように、特別に別室で準備して下さいました。おかげさまで遠慮なく大騒ぎしながら夕食をとる事が出来ました。カラオケ室までもご配慮頂きました。感謝申し上げます。

4日目 8月6日(月) 池田町でアドベンチャーボート・川遊び

この日は池田町の「アドベンチャーボート」へ出発。昨年も人気だった川下りです。ボートには大人が一人ずつ乗り込みます。この日も MARE のスタッフの皆様が子ども達のために大勢駆けつけてくれました。ありがとうございます。昼食はここでも「福井県民生協」さんが配達してくれました。ありがとうございます。

皆様にそんなご尽力を頂き、子ども達は川下り、川遊びを存分に楽しみました。この日もお風呂は「いちい荘」へ向かいます。3日続けての入浴、ご提供、誠にありがとうございます。その後、活動拠点の「子どもジャングル」に戻って夕食です。ここから春江町「子どもジャングル」の学童の子ども達との本格的な交流を準備しました。

「子どもジャングル」スタッフの手作りカレーライス子どもジャングルの有志の子ども達と一緒に、汗を流しながら熱々のカレーライスを美味しく頂きました。食事後、宿泊先の丸岡町「竹田小学校」へ移動しました。「竹田小学校」は児童数減少の為、平成22年より休校となり現在は使われていません。そこの体育館を二日間お借りして活動の拠点としました。「子どもジャングル」の学童11名も一緒に体育館で寝泊りしました。

到着後、広い体育館に各自寝床を確保して早速「肝試し」のリクエスト。休校中の学校、環境は最高です。さすがに校舎内は入れませんでした。校舎の外周を数人に分かれて一周。竹田の夜空に叫び声が幾度となく響き渡りました。体育館に戻っても興奮さめやまず、しかも暴れるには最高の環境、皆が寝付くまでかなりの時間を要しました...

5日目 8月7日(火) 県立恐竜博物館・竹田の「たけくらべ」でBBQ

朝食は丸岡町竹田の方々が学校の調理室を利用して準備して頂きました。朝早くからありがとうございます。

朝食後、勝山市の「県立恐竜博物館」へ向けて出発。午前中館内を見学しました。入場から館内の有料特別展、バッチ作りまで、何かとご配慮頂きました。ありがとうございます。春江「子どもジャングル」の学童の子ども南相馬のお兄ちゃん、お姉ちゃん達にくっついて見学していました。そんな様子を見守ってくれたのが、「MARE」のスタッフの皆さんです。この日丸1日、夜まで同行して頂きました。ありがとうございます。

12:00に竹田小学校にもどり竹田の皆様の手作り弁当を頂き体育館での活動が始まりました。館内にある道具を引っ張り出して、サッカーにバスケ、バレーボールにソフトテニス、ドッジボールなどなど、皆、思い思いに活動していました。途中、全員で「ミニ戦闘中ゲーム」を行ない、南相馬っ子、春江のジャングルっ子、そしてMAREのスタッフ、皆、大奮闘していました。

その後、近くにあるキャンプ場「たけくらべ」に移動、夕食のバーベキュー準備を始めました。メニューは、焼きそばとチャーハン、フランクフルト。食材はこちらで準備しましたが、MAREスタッフの皆様のお手伝いを頂きながら、まき集めから火おこし、調理まで全て子ども達がしてくれました。「初めて料理する！」なんて言う子もいながら男女ともに焼きそば作りに励んでくれています。玉ねぎが半焼きで辛かったのもご愛嬌、皆で美味しく頂きました。

夕暮れ時、MAREママと共にポーセラーツの先生も焼きあがった品を子ども達に届けに訪れてくれました。出来上がりに子ども達も大満足の様子。良い思い出の品になりました。

そして、明日の最終日のお別れ会で感動の渦に巻き込む事になるシンガーソングライター「橋本昌彦」さんもキャンプ場へ訪れて子ども達と交流してくれました。この時点で、子ども達はまだ何も知りませんが...

暗くなったら花火、そして敷地内にある「丸岡温泉たけくらべ」で入浴です。大人数を夜遅くに入浴させて頂きありがとうございました。その後、体育館に戻り就寝です。が、バレーボールをしたりソフトテニスをしたり、怪談話をしたり、今までになく深夜まで皆元気でした。どんどん子ども達同士の関係が繋がって行くのを肌で感じます。明日は最後の活動日、このままの元気な子ども達が目に浮かびます...

6日目 8月8日(水) お別れパーティ

竹田の皆様の手作り朝食を頂いた後、春江町「子どもジャングル」へ移動、9:00頃に到着しぶどう狩りへ出発です。徒歩3分の所にある森藤ぶどう園です。昨年参加した子からの「あの美味しいぶどうをもう一度食べたい!」というリクエストで再度実現した企画です。お土産用に頂いたぶどうも、ほとんどの子がその日のうちに食べてしまいました。美味しかったです。ありがとうございました。

お昼は春江「子どもジャングル」でジャングルっ子と一緒に冷やしうどんを食べました。おかわり続出で準備してあった大量のうどん完食。通常業務をしつつ食事準備をして頂いた「子どもジャングル」スタッフの皆様、ありがとうございました。

そして、最後の宿泊先へ14:00過ぎにチェックイン。福井県下で最も有名な温泉街、あわら温泉にある「ホテル美松」さんにお世話になりました。夏休みの繁忙期に男子、女子に大部屋を準備して頂きました。「同じフロアに、他の宿泊者はいないので騒いでも大丈夫ですよ!」と声をかけて頂きました。お言葉に甘えました...。様々なご配慮、ありがとうございました。次のスケジュール「お別れ会」までの時間、大浴場に入ったり、館内を探検したり、部屋でくつろいだり、ゆったりと過ごす事にしました。そして、「今回の福井での生活の感想を書いてみて!」と原稿用紙を渡すと、2枚、3枚とたくさんの嬉しく、そして、考えさせられる感想を皆が書き上げてくれました。皆、ありがとう!

夕方、お別れ会の会場となる春江町「中公民館」へ出発。食事は「あらじんとゆかいな仲間たち」が朝から準備をしてくれました。ありがとうございます。たくさんの食事と、子どもジャングルの子も達とその保護者に囲まれて会はスタートしました。

福井大学医学部のボランティアサークル「FEAL」の須田くんがブレイクダンスを披露。「あらじんとゆかいな仲間たち」がゆかいなダンスを披露。盛り上がりの中、会食へと進みました。

そしてシンガーソングライター「橋本昌彦」さんから歌のプレゼント。あらじんと橋本さん

との交流から実現したビッグなプレゼントです。アコースティックな匂いのする心地よいサウンドに、言葉を伝え、魂を伝える詩と、甘い歌声。しかも甘いマスク…。先日、厚生労働省社会保障審議会推薦 児童福祉文化財に認定された「ぬくもりのきおく」をはじめ 40 分ほどのコンサート。5 曲を歌っていただきました。1 曲目から子ども達は号泣していました。南相馬の子ども達には十分にメッセージが伝わったようです。感動をありがとうございました。リクエストが多く、南相馬の子ども達に橋本さんが CD にその場でサインしてプレゼントしていただきました。

続いて、あらじんによる絵本の披露。自叙伝的絵本「あらじんのまほう」です。衝撃的なあらじんの過去を曝け出し、そこから現在の心境になるまでを吐露する事で、過去を、今を、夢を、家族を、仲間を、そして自分をみつめる「こころ」の絵本です。メッセージ、十分に届いたようです。子ども達もあらじんも大号泣！感動をありがとうございました。こちらもリクエストが多く、あらじんのサイン入りで南相馬の子ども達にプレゼントすることになりました。

続いてあらじんが、この 1 週間の活動の様子と子ども達一人ひとりにメッセージをそえて作ったスライドショーです。号泣しながら大笑い。こちらもハンカチを手放せない感動のスライドショーでした。

続いて子ども達から一言ずつ、福井での活動の感想をもらいました。しっかりとした口調で感謝の言葉を語ってくれながら、ウイットに富んだ挨拶。楽しかったです。みんな、ありがとう！

最後に「橋本昌彦」さんのリードで、全員で「世界で一つだけの花」を合唱して、涙あり、笑いありの感動のお別れ会、終了となりました。

感動覚めやまず、その後も記念撮影や南相馬っ子と春江のジャングルっ子との住所交換、メールアドレス交換、橋本さんやあらじんを囲んでのおしゃべりなど、延々と続きましたが、時間の都合で強制終了。夜遅くまで会場の後片付けをして下さった「あらじんとゆかいな仲間たち」の皆様や子どもジャングル保護者の皆様、ありがとうございました。

子ども達は「ホテル美松」戻り、大浴場に入り、男子部屋に皆集まり、福井の最後の夜を楽しみました。「橋本昌彦」さんも合流して下さり、とりとめもない話をしながら最後の夜が終わりました。

7日目 8月9日(木) 南相馬市へ

いよいよお別れの日です。

長旅になりましたが、来る時との違いは先輩も後輩も、継続参加者も初参加者も関係なく全員の関係性が良好で、楽しくもあり、別れを惜しむちょっぴりせつない道中ともなりました。

「冬はいつやるの!」「冬はどうやって申し込んだらいいの?」と、子ども達から多くの声を

頂きました。みんなありがとう！今回の参加者全員と、またファミリーになれた気分らせてもらえました。

南相馬市に到着。保護者の方々もお忙しい中、出迎えていただきました。大きな怪我もなく、無事皆様のもとに送り届ける事ができました。この事業に関わって頂いた全ての皆様方のおかげです。更には私達を信頼して長い間、お子様を預けて頂いた保護者の皆様のおかげで、私達も多くの出会いと感動を頂きました。ありがとうございました。

無事にこの大事業が終了した事をここにご報告申し上げます。本当に皆様のおかげです。重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

最後に

皆様のおかげをもちまして、あっという間の1週間が無事終わりました。直接子ども達と接していたのは私達です。それが出来たのも、多くの皆様の支援とご理解、ご協力があつてこそです。感謝申し上げます。本文中にご紹介できなかった多くの皆様のご協力もありました。活動中、「子どもジャングル」の現場のスタッフが手薄になります。そこには福井大学医学部のボランティアサークル「FEAL」の皆さんや、学生ボランティアの皆さんが支援して下さいました。子どもジャングルの保護者の方々にも、多くのご協力、ご理解を頂きました。

最も大変なのが「資金」の問題です。多くの方々からの募金、義援金を賜りました。物資の支援も頂きました。南相馬の参加者からも、継続参加の子ども達は一部自己負担としましたが、保護者の方々に快くご了解して頂きました。

皆様、本当にありがとうございます。皆様の熱い想いに応えられる活動が出来たかどうか、こちらも検証していきたいと思えます。

震災から1年半が経ち、こうした事業や被災地への理解や感心が世間一般では薄れている事を肌で感じる中、多くの皆様からこころのこもったご協力を賜った事、感謝の一言です。おかげをもちまして今夏の活動、終了いたしました。誠にありがとうございました。

冬も行ないます。今後も多大なご支援、ご協力、皆様、どうぞよろしくお願い致します。